

文章の形態を選んで書く

問題

月本さんは、国語の時間に文化祭の出来事について、さまざまな書き方で表現することを学習しました。月本さんの書いた【文化祭での出来事】、【月本さんの気持ち】、【物語】、【報道文】、【短歌】を読んであとの問いに答えなさい。

【文化祭での出来事】

- ・ 9月18日 13:00～。体育館のステージで、文化祭表現の部が行われる。
- ・ 2組全員でダンスを踊る、5分間の演技。
- ・ 緊張するが、みんなで声をかけあって気持ちを落ち着かせる。
- ・ スポットライトに照らされて、夢中でダンスを踊る。演技が終わると拍手と歓声がわき起こり、涙が出そうになる。
- ・ 春山先生は、堂々とした演技でだれもが輝いていたと言ってくれた。

【月本さんの気持ち】

A

B

印象的な言葉で表現を工夫して、感動や思いを伝えたい。

【物語】

「おい、緊張してるのか。」久也が聞いてきた。「大丈夫、あれだけ練習したんだから。」幸恵が言う。うなづく俺。リーダーとは名ばかりで、結構気が弱い俺。それにしても、よく練習したよな。けんかもしたけれど、だんだん二組が一つになったみたいだ。「おい、幕が上がるぞ。」秀夫が言う。「よし、行くぞ。」

【報道文】

九月十八日十三時、東中学校体育館で文化祭表現の部が始まった。次々に披露されるクラスの演技。二組は、全員で考えたダンスを踊った。何度もくり返し練習した成果が実り、終了後大きな拍手や歓声がわき起こった。そのときの心境を二組の月本さんに聞いた。

【短歌】

幕が開く スポットライト あびながら
五分に込めた 僕らの思い

一 【月本さんの気持ち】のA・Bに当てはまるものを、1から4の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

- 1 時・場所・人物などを意識して、事実などを忠実に伝えたい。
- 2 時・場所・人物などを設定して、心情や情景などを伝えたい。
- 3 ある事柄についての自分の考えを、根拠を明らかにして伝えたい。
- 4 表現のしかたや作者の意図などについて、そのよさや感動を伝えたい。

二 月本さんは、担任の春山先生になったつもりで、【文化祭の出来事】を【随筆】の文章形態で書いてみることにしました。あなたならどのように書きますか。【随筆】の に、あとの条件1・条件2に従って書きなさい。

【随筆】

九月十八日午後、文化祭表現の部が行われた。私の担任する二組のみんなもステージに立った。それにしても、よくここまで練習してきたものだ。意見の食い違いでバラバラになりそうになっても、みんなで話し合い、練習をくり返していた。そうやって、本当の二組ができてきたように思う。本番前、ずいぶん緊張していたようだったが、。演技が終わり、歓声に包まれているみんなを見て、二組の成長に立ち会えたことに心が震えた。

条件1 「自分の経験や、経験から得た感動などを描写を工夫して表現する」という随筆を書くときのポイントを踏まえて書くこと。

条件2 前の部分と意味がつながるように、三十字以上、四十字以内で書くこと。

正答

一 A 2 B 1

二(例) (本番前、ずいぶん緊張していたようだったが、)幕が開くと実に堂々としていて、夢中で演技をする姿はだれもが輝いていた。(。)